

8 月度 ^{例会} _{個人} 山行報告書		報告者	津田 廣一	参加 メンバー	CL:津田 廣一 利栄子
		報告日	09/11		
山 域	南アルプス	山行日	13 年 08 月 10 日(土)		
山 名	北岳&間ノ岳		~12 日(月)		
山行目的	夏山を楽しむ・3000mの稜線散歩		コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集
会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図: 仙丈ヶ岳・鳳凰山・間ノ岳

3000mの稜線縦走路

8/10 晴れ	8/11 晴れ
05:15 起床	04:00 起床
05:20 道の駅(しらね)発	05:35 テン場発
05:45 芦安P(乗合タ6:30 発)	06:10 北岳山頂(15分)
07:20 広河原着	07:15 北岳山荘一本(10分)
07:50 広河原発	08:00 中白根ピーク一本(5分)
08:40 樹林帯一本(5分)	08:55 間ノ岳山頂(25分)
09:40 御池小屋一本(20分)	10:30 北岳山荘一本(10分)
10:45 樹林帯一本(10分)	11:40 北岳山頂(10分)
11:20 樹林帯一本(10分)	12:20 テン場着
12:20 小太郎尾根分岐(10分)	
13:00 肩ノ小屋(テン場)	
	8/12 晴れ
	03:45 起床
	05:30 テン場発
	06:50 御池小屋一本(10分)
	08:10 樹林帯一本(5分)
	08:40 広河原(乗合タ9:00 発)
	09:40 芦安P
	10:00~11:30 〓(昼食)
	17:00 豊橋(白空)差

山行報告 妻の誕生日を山上で祝おうと前夜 19 時出発。新清水ICから52号線を北上、24時過ぎ、道の駅で就寝。1日目:5 時前に出発すべきを、寝過ぎて、顔だけ洗って、芦安Pを目指す、5:30 に間に合わず 1h遅れの 6:30 になり、広河原から歩き出すのが50分遅れとなってしまった。今日は肩ノ小屋までと、焦る事もなく歩き出す。天気も良く、ハイキング気分登る。登山者も多く、若いグループに抜かれに抜かれる。さすがに若者、早いな〜と感心しながら、30 分程歩くも、大樺沢ルートに分岐に来ない(後で思うと、団体さんの休憩場所だった)。急傾斜を先行パーティの後を、ゆっくりとついていく。2 ピッチで御池小屋へ。妻は目敏く、ソフトクリームを注文。濃厚で美味しい。大休憩となってしまう。草スベリコースを登る事にし、暑さを我慢し、急傾斜を登り詰める。晴れて暑い為、1 ピッチの時間を短く休憩時間も長めにしてバテるのを防ぐ。確実に高度を稼いで 4 ピッチで肩ノ小屋のテン場へ到着。ビールと冷し甘酒で今日の頑張りを労った。

2 日目:目覚めるやテント内を片付けて朝食。2 人でサブザック 1 つで 3000m稜線散歩に出発。30 分超、登り北岳山頂へ。360 度の大パノラマだ。甲斐駒、千丈が大きい。鳳凰も、さらに向こうにハヶ岳、勿論、富士山も端正な姿を見せる。眺望を楽しみ、間ノ岳を目指す。空身のせい、か、どんどん進む。北岳山荘と中白根ピークで 1 本。間ノ岳山頂で再び大パノラマを楽しみ、頂上を後に。北岳山荘で、妻へ誕生日プレゼントを買い、再び北岳へ登り返す。妻の誕生日を祝う様

に、3000m稜線の眺望が素晴らしく、高山植物の花もいっぱい咲いて、ご機嫌の 1 日になった様だ。テン場に着き、生ビールと冷し甘酒で乾杯!夕食後、テントの中でくつろいでいると外が騒がしい。ブロッケンが、ここでも出ている(槍に次いで 2 回目)。最高の 1 日は終了した。

3 日目:確実に広河原発の乗合タクに乗るべく、早めに下山する事にした。朝食を手際よく済まして、テントを撤収。ツアーの団体さんより、早く下山開始。御

リーダー所見
5 年間、寂しい思いをさせたであろう罪滅ぼしと山の中で妻の誕生日を祝おうと計画。富士山、奥穂へ登った次は、必然的に北岳となった。天候も 3 日間とも晴れと、素晴らしい山行となった。私にとっても、3 度目の正直でやっと晴れた北岳へ登る事ができた。これからも、いい山、どんどん登りたい。



思いはるかな ~ 北岳ヤッター

確認
(リーダー)
津田
13.9.08
作成
(報告者)
津田
13.9.08